

この結果縣下道愛護會の活動は一段と高潮せられつゝあり、各土木出張所に於ても所員を以て勤労奉仕團を結成

して不言實行の道路愛護指導運動が展開されるに至つた。

内務省だより

一 記 者

○昭和十三年度實行豫算編成さる

現下非常時局に鑑み政府は重要物資需給の適合と消費節約の徹底とを期する爲政府支出の緊縮に努むる必要上六月二十八日の閣議決定に基き實行豫算を編成する事となり銳意各省と折衝の結果八月九日の閣議に於て之を正式決定し發表をることとなつた。從て道路改良費豫算も相當繰延節約の厄に遭つた。然し道路の改良が軍事輸送、生産力の擴充、銃後対策等現下の時局に照し最も緊急なる事業であることが充分に認識せられ左の通りの節約で済んだことは不幸中の幸であつた。

特殊國道改良費

以上の事務費

府縣道改良補助費

五〇、〇〇〇圓

本年度に於ては節減額とするも明年度に於て別途承認するものとす

五八五、〇〇〇圓

明年度に補助金を繰越し交付するものとす但し飛行場其の他軍事施設道路の分は繰越さざるものとす

單年度國道改良費

四四一、〇〇〇圓

特殊國道に同じ

國道改良繼續費

五九六、〇六九圓

後年度に繰延ぶるものとす

二〇、九二二圓 節減不用とするものとす

沖繩縣振興道路改良費

三五、〇〇〇圓 特殊國道に同じ

鹿兒島縣大島郡振興道路改良費

一三、〇〇〇圓 同上

計 一、七四〇、九八一圓

之を本年度豫算總額一一、九二五、〇〇〇圓より差引き本

年度道路關係實行豫算額は一〇、一八四、〇一九圓となる。

○昭和十四年度豫算編成に就て

本年度豫算編成に當りては國家の施設は専ら事變目的遂行を目標として之に集中し以て軍の需要の充足に遺憾なきを期すると共に銃後に於ける國民經濟の維持に留意する所なかるべからず、而して之が爲には財政經濟の現状に鑑み物資、資金労力等の需給並輸入力の關係を較量し且一般経費を緊縮して政府自ら消費節約の實踐に努むること最も緊要なりとする方針に基き編成を要するものにして道路改良關係の豫算も亦右方針に則り軍事國防、生産擴充、輸出振

興、銃後對策の見地より最も緊急なるものののみ最少限度に要求することに先般省議の決定を經て大藏省に提出された。その費目の重なるものは軍事國道改良費、府縣道改良補助費、國道改良費（單年度と繼續費に區分す）道路鋪裝費（直轄事業と補助費に區分す）沖繩縣及鹿兒島縣大島郡振興費、雪害防除道路助成費等であるが金額を茲に記述するの自由を有しない。

○鐵道省營自動車運輸事業に伴ふ道路費負擔細目分擔要領決る鐵道省に於て經營するバス事業路線道路改修費並同維持費負擔率に關する内務、鐵道兩省の協定は昭和十一年十一月一日より實施せられありたる處之が運用に關し其の細目に付更に協定の必要生じ豫て兩省間に協議中の處此の程漸く成案を得たるを以て近く各地方廳に通牒せらるる運となつた。これで今迄の現場に於ける意見の食違ひ等もなくなり今後圓滑に折衝が進行することとなつたとは目出度い。尙維持修繕費に伴ふ監督雜費の率も十二年度分から五分を計上することに交渉が纏つた。

H

H

H

H

(十二)

Y

H

生

七月十七日

鄱陽湖畔吳鎮附近に於て海軍機は草木で偽装せる約二〇〇噸の軍用汽船一隻を爆沈した。

ドイツ人軍事顧問團々長フアルケンハウ

ゼン將軍は去る八日香港到着以來發表すると稱した聲明書も發表せず休養中のところ豫定を早め十六日夜十一時コンテ・

ヴエルデ號で夫人同伴歸國の途についた出帆に當り同將軍は支那人記者に對し

「余は今回歸國することになつたが、

余の心は常に支那にあり將來、機會あ

らば再び支那を訪れたいと思つてゐる」といかにも沈痛な面持ちで語つたと傳へらる。

七月十八日

此日黎明海軍航空隊は南昌の敵空軍根據地を攻撃せり、我が飛行機隊の近迫せるを知るや敵機約十五機は倉皇

として離陸遁走せんとせしも南鄉大尉指揮の〇〇機〇機は機を失せずこれを急追し忽ちその八機を擊墜す、敵重爆機三機、

戰闘機九機逃れ遅れて南昌新飛行場にあるを認むるや松本少佐指揮の〇〇機〇機は急降下爆撃に引續き猛烈果敢なる

低空飛行により反覆銃撃を加へ内七機を炎上せしめたり、然るに機銃弾盡きたるも炎上せざる尙若干機存せるを認むるや

門腹極りなき〇〇機〇機は敢然敵飛行場に着陸を決行し飛行機より躍り出てて敵

機に迫り燐寸等を以て放火、一機殘さず炎上せしむ、この間敵重爆撃機に裝備しありたる機銃彈装二個を戰利品として分

捕り更に敵格納庫内部飛行場の周邊を悠々限なく偵察し敵機の壊滅したるを確認し且燃料補給車を追ひかけ田の中に顛覆せしめたる後離陸全機無事歸還せり、地上の敵は全く膽を奪はれ啞然として何等爲すところなく徒らに遠距離より我行動を見守るのみなり、この間渡邊大尉指揮の〇〇機〇機は舊飛行場を攻撃せるも圓機多數あるほか敵機を見す飛行場施設に大打撃を與へたる後全機歸還せり。

江蘇省東部の揚子江北岸地區に蠢動し

つゝあつた殘敵に對し我軍は去る十三日より之が掃蕩を開始し北方へ急進中であつたが十六日田上、足立、川上諸部隊は敵に多大の損害を與へて掃蕩戦を完了敵を四方に遁走せしめた、此の方面に出没の敵は第百十一師乃至第百十四師の混成で兵力約一個師であつた。

七月十九日 我軍〇〇機〇〇臺は〇〇機護衛の下に此日午前八時三十分大舉武漢三鎮の空襲を行つたが支那側は怖氣をふる

かたか出でゝ應戰する飛行機は一臺もなかつた、今朝の空襲は今までこの地方に行はれた空襲のうち最も大規模のものであつた、この朝先づ〇臺の日本〇〇機が漢陽に現れ數十發の爆弾を投下し市内で大火災を生じた、次いで間もなく〇〇臺の〇〇機が漢口を襲ひ漢口飛行場を爆撃し一方〇〇機は低空飛行を試み機銃をもつて地上を掃射しともに大損害を與へ、空襲はほぼ十時半頃まで續いたが同

時刻に別動隊たる〇〇機〇臺は武昌停車場を空襲しこれに大打撃を與へた。

廣東を初め粵漢、廣九兩鐵道主要驛軍事施設に對し連日息もつがせぬ猛爆を敢行中のわが海軍航空隊は十九日大舉廣東

を襲ひ敵に大損害を與へた、十九日の空襲は激烈を極め爲に廣東、香港間通信機關は朝九時より不通となり午後に至るも未だ回復せぬ、敵の損害甚大に見る見込みである。

近く開かるべき物資總動員に伴ふ失業対策には午後一時半から内務省に於て準備打合會が開かれ各省關係者集合した、厚生省案の骨子は次の通りである。

近く開かるべき物資總動員に伴ふ失業対策には午後一時半から内務省に於て準備打合會が開かれ各省關係者集合した、厚生省案の骨子は次の通りである。

一、動員計畫に伴ふ止むを得ざる失業を業者、労働者によく諒解せしめ、軍需工業方面では出來得る限り平和産業の失業者を救濟すると同時に平和産業方面の業者、労働者も最後は自力をもつて更生するといふ心構へを堅持させる

こと、關係各省は凡ゆる機關によつて失業状況の情報を蒐集すること、多數失業者の輩出する虞れのある府縣では關係部課の連絡を緊密にして失業対策につき協議せしめること。

一、失業防止対策としては勞働時間の短縮、休日の増加等の方法によつて出來

だけ勞務者の失業を防止すること、中小商工業者についてはその事業を廢することなく他の適當な事業に出来る

だけ轉換する途を講じ軍部も商工省と協力して考慮すること、自營業者の轉業については商工省で考究するほか全

國職業紹介所でも臨時相談部を置き轉業相談に應ずること。

一、失業救濟対策としては(イ)平和産業方面で止むを得ず労働者を解雇する時は職業紹介所で轉職の斡旋をする(ロ)斡旋困難な場合は内職組合等を設置して授産によつて救濟する(ハ)また職業

補導施設を設けて短期間の職業再教育

を施し軍需工業へ轉換させる(ニ)歸農出来る者には努めて歸農を勧めること等。

(大藏省令四二號)公布、
海軍航空部隊の活躍は京

海軍航空部隊の活躍は京漢線方面、揚子江九江方面南支方面的各處に爆撃を加へて多大の戰果を収めた上海では大親日派の

日(八月一日)ノ件(勅令第五
六號)、同
上施行令(勅令第五一七號)公布
日本國伊太利國間通商航海條約追加協
定條約第四號公布

五月三十日 我軍の湖口占領後揚子江への出口を奪はれた蔣介石政権は香口より湖口に至る八十キロの我が兵站線を遮断し又江上邇航の我が艦船を脅かすべく八千

七月二十二日 海軍航空隊は信陽驛を爆破
數ヶ所を炎上せしめたるが特に一貨物列

此朝我軍陸戦隊の一部は湖口對岸に敵前上陸を行ひ直ちに〇〇砲臺を占領した。

の要地彭澤東南方十キロの黃土嶺を中心
に十五キロの包圍陣を形成して逆襲し來
つたが我が〇〇部隊の必死の應戦と飛行
隊の爆撃により激戦二十時間の後遂に十
倍に餘る敵大軍も遺棄死體五百を遺して
退去した、我方の損害は僅少である。

岳陽方面に向つた海軍航空隊に軍艦三隻其他民船數隻を爆破し南支攻撃に向つた部隊は兵工廠其他軍事施設數ヶ所を爆

破した。

七月二十一日 無盡業法施行細則中改正

時局日誌

しむ南支方面においては粵漢線坪石附近の鐵路及び貨車群を爆撃相當の慘害を與へたり、江上艦艇の一部は前日に引續き獅子山、毛家店方面の敵陣地を猛撃多大の損害を與へたり。

ひ巨弾の雨を降らせ新發電所その他に大損害を與へたるのち全部無事歸還した又陸の荒鶯竹田、村岡、木村、高津の各快速奇襲部隊は大舉南昌空襲を敢行、猛烈な地上砲火を物ともせず軍事施設を猛撃し機銃の掃射を加へて敵の度膽を抜き全機無事歸還した。

七月二十四日 七月六日豆満江下流の一島

陵張鼓峰に突然ソ聯騎兵越境し來つた以來長池内、香山洞方面に不法にも軍事施設を施工し我兵に對し攻撃を加へたる事件が勃發した、夫に關し二十四日刊行のボボロ・ヂタリア紙に次の如き批評を加へた。

日本外務省の代辦者は張鼓峰が慣習的に滿洲國領なる事を主張してゐるに對しソ聯のリトヴィノフ外務人民委員は手製の公認せられない地圖を示してソ聯領なる事を主張してゐる、これはリトイノフ外交の常套的なやり口で今更驚くに當らないが御手製の地圖に實證力のない事は固より自明である、張鼓峰がソ聯何れの領土に屬するやは勿論重大なる問題だが、それより一層我々にとり重大なる點は、何故にソ聯側がかくも唐突に軍を動かしたかの點にある、幾多の斷罪者を出したソ聯の軍隊に戰闘力の無い事は豫て我々の指摘

してゐる所で從つてソ聯の意圖は他の點に存すると言はねばならない、即ち彼は事を張鼓峰に構へて日本軍の漢口政略を牽制すると共に、可能ならば日支間に妥協的な紛争解決をなさしめんとする思惑のある事は十分察知され、日本が事變終結以前に對ソ戰を敢行する意思なしと解しこの暴舉に出た事は説明を要しない、だがソ聯はこの際、日本人特有の心理狀態の判定を行つてゐる、それは若し止むを得ないな

らば名譽にかけて一切の再險と犠牲を辭さないといふ日本的決意の計算だ、供しこの際極度の推理を働かせる必要はない、何となればソ聯は手が眞に決意した事を覺るや面目を忘れて引退るのがその常套手段だからである。

七月二十五日 此日午前十一時半領督辯南京市政公署裏門で暴漢四名が拳銃で巡警を嚇しつけ門内に闖入突如裏庭目懸けて

手榴彈様の爆弾九個を投じた、うち七個は不發に終つたがこの破片で苦力四名負傷うち一名は生命危篤に陥り又之を阻止せんとした巡警一名はピストルを發射され輕傷を負つた、我が憲兵隊では現場に急行、間もなく犯人一名を逮捕し背後關係其他につき嚴重取調べ中で、公署の建物及び職員には何等被害はなかつた。

七月二十六日 工業所有權保護に關する一八八三年三月二日「パリ」同盟條約締結（條約第五號）公布

先に湖口を占領せる我が陸海揚子江進撃部隊は引續き爾後の溯江作戦を準備し海軍江上艦艇は連日濁流逆巻く江上に幾百の機雷を清掃し陸軍上陸部隊は湖口以東の地區に蝟集せる敵必死の逆襲を破壊しつゝ共に着々その準備を完了せり、斯くて七月二十三日密接なる共同の下に敵の妨害を排除して鄱陽湖畔に上陸、次いで陸軍上陸部隊は炎熱焼くが如き山嶽地

帶に所在の頑敵を撃破しつゝ數段の堅蟲に據る數個師の敵軍を粉碎し一方我が海軍江上艦艇は更に機雷群を突破し兩岸の敵陣を徹底的に砲撃し陸海各部隊の壊滅的爆撃と相俟ち二十六日午前八時頃遂に九江を占領し凱歌高く廬山に揚り餘韻は長く長江を壓し茲に大別山系及び南昌を通ずる漢口防禦陣の中樞要衝は我が軍の掌握に歸せり。九江を死守せんとした敵の兵力は第七、第十五、第十一、第六師の現役の外豫備の第二、第十一、第十団の七個師約七萬であつた。

安慶西方地區を追撃中の長谷川、中野

佐野各部隊は二十六日午前十一時太湖縣

城に一齊總攻撃を開始して長河を渡河せ

る長谷川部隊は前面の頑を撃破しつゝ怒

濤の如く太湖縣城東門に殺到城壁より抵抗する敵を蹴散らして、城内に雪崩込み

午前東門高く日章旗を翻し中野、佐野兩部隊も同時に城内に殺到し同十一時四十

分太湖縣城を完全に占領した敵の一部は黃梅に向か一部は西北方に向け潰走中。

九江攻略せられたる趣を開き召されたる伏見軍令部總長宮殿下に於かせられて

は及川艦隊司令長官、烟中支軍最高指揮官に對し夫れ御祝電を發せられた趣

に承る。

七月二十七日 重要鑄物委員會官制（勅令第五二四號）公布

議會制度審議會の貴族院部會に對し政府は左の如き貴族院機構改善審議細目を

議會制度審議會の貴族院部會に對し政府は左の如き貴族院機構改善審議細目を配布した。

一、議別の種別。（甲）華族議員（イ）公侯

爵議員の世襲制等の問題（一）存廢問題

（二）廢止の場合の選任方法（ロ）別種の華族議員の創設の問題（乙）勅任議員

（イ）多額納稅者議員制の問題（一）存廢

問題（二）存置の場合の改善方法（ロ）學

四、議員の任期。（甲）華族議員の任期問題

（イ）勅選議員の任期問題（イ）終身制

の存廢（ロ）廢止の場合の任期（一）所謂

任期制（二）停年制（三）その他の任期

（内）その他の勅任議員の任期問題（丁）

問題（二）存置の場合の改善方法（ロ）學

員を含む）（一）創設の可否（2）創設の場合の種別（二）其他別種の議員

二、議員の資格條件。（甲）年齢資格要件

の問題（乙）兼職の問題（丙）その他の資格要件の問題

三、議員の數。（甲）總數の問題（乙）華族議員數の問題（イ）華族議員の總數（ロ）

各爵別に員數を定むべきや（ハ）各爵別に定むる場合の各爵議員數（丙）勅任議員數の問題（イ）勅任議員の總數（ロ）勅

選議員の數（ハ）其の他の各種勅任議員の數

士院會員議員の問題（ハ）別種の勅任議員の創設の問題（イ）職能議員（學者議員の創設の問題（一）職能議員（學者議員の創設の問題（二）學

舉方法の問題（イ）各爵別選舉とするか

各爵共通選舉とするか(ロ)選舉人の資格要件(ハ)投票方法(一)記名式か、無記名式か(ニ)連記式か、單記式か、その他適當なる方法ありや(三)委託投票の存廢及び郵便投票の可否(ニ)選舉管轄は如何にするか(ホ)選舉取締其他

(乙)勅選議員の選任方法の問題(イ)銓衡機關を設置すべきや、其の組織権限如何(ロ)銓衡準則設定の可否、其の他(丙)其の他の勅任議員の選出方法の問題

六、其の他の問題 (甲)經過規定(乙)其の他

七月二十八日 農地調整法施行期日 (八月

一日)ノ件(勅令第五二五號)、同法施行令(勅令第五二六號)、自作地登記令(勅

令第五二七號)、登錄稅法施行規則中改正

(勅令第五二八號)、物品販賣價格取締規

則中改正(商工省令第六八號)公布

國民政府外交部長王寵惠の和平希求意

見は次の如き主旨である(一)日本軍が漢口

を占領した後進撃を止めるとしても國民

政府の抗日政策には些かの變化も生じないであらう、和平に對する支那側の第一

條件は日本が侵略政策を拋棄することである、日支紛爭の解決方法を發見するた

め米國が他國に先んじて乗り出すことは極めて望ましい、諸外國が自身を戰争の

渦中に投することなしに侵略行動を阻止する手段は多々あると信ずる。

七月二十九日 陸軍通行學校令(勅令第五

三三號)、陸軍工科學校令中改正(勅令第
五三四)、陸軍經理學校令中改正(勅令

五三五號)、陸軍獸醫學校令(勅令第五三

六號)、農地調整法施行規則(農林省令第
三三號)公布

我軍は九江占領後南方廬山の姑嶺に避

離中の第三國婦女子は交戰地區に近かつ

たため食料の缺乏を來し更に敗殘兵の不

安等もあるので我が上陸部隊は至急これ

ら避難外人に對し食料の配給に努めると

同時に同地のパリーズ、フアリグレン、
パニユツチ等の病院及びアメリカンスター

ール等に收容保護を加へ、更に二十九日

には陸軍機によつて外人向食料を九江に急送したがこの適當の處置は同方面の第

三國人の感謝の的となつて居る。

七月三十日 石油資源開發法施行規則(商

工省令第七二號)公布

今早曉ソ軍は折柄の濃霧に乘じ沙草峰附近の部隊に戰車數臺を加へ且張鼓峰占

據部隊並に長池東方及び東南方に在りし砲兵の掩護射擊の下に夜襲し來りしも我

軍の反撃に遂ひ退却した。

七月三十一日 九江前面江上に浮びつゝあ

る我が揚子江溯江第一戰部隊〇〇艦に三

十一日午前十時附近に碇泊中の英國砲艦

コツクチャファード艦長コツクス海軍少佐が訪れ〇〇司令官宛に持參した高さ五寸許りの機雷模型を贈呈したいと申し出

た。これは去る三十日午後支那軍が敷設した機雷の一つがどうした機か索を離れて英艦の方向に流れて來た。英艦では驚いて直ちにこの機雷目がけて射撃を加へたが仲々中らない、處が傍に碇泊して居た我が○艦は見事これを爆破せしめた、これに感激した艦長コック少佐は艦内で製作した機雷模型を御禮にと○○司令官に宛て自ら持参したのだ。

八月一日 陸上交通事業調整法の施行、

銅使用制限規則中改正（商工省令第七三號）公布

一日正午以來敵の飛行機二回に亘り張鼓峰上空に飛翔し來り、わが第一線部隊に對し爆撃或は對地射撃を加へたるものわれに損害なし、午後二時三十分敵の重爆撃機の編隊は圖們江下流方面より越境、朝鮮内洪儀南方金草場附近において鐵道を爆撃し次で慶興橋梁に將し爆撃せるも我に大なる損害なし、尙午後五時半まで

の間に轟墜せる敵の機數は洪儀南方四キロにおいて二機、龍山において重爆二機にして別に水陸峰附近にて一機を轟墜せる模様なるも詳細判明せず又張鼓峰附近戰場に遺棄せる敵の死體はその後調査の結果増加し三十七人、服裝より判断すれば諸兵聯合のゲ・ペ・ウなり、今次事變については例によりソ聯側ではダマを飛ばし清津、羅津を爆撃し甚だしきは哈爾濱を空襲せりといふが如き噴飯に堪へざる虛構なる放送に躍起となつて居る。

昨夏支那軍重圍の上海佛租界に於て「科學挺身隊長」との名を得た上海自然朝逝去した。

東舞鶴並舞鶴に市制施行せらる、東舞鶴はこの日人口三萬七千、聖將東鄉提督ゆかりの東舞鶴市に大同合併した舊新舞鶴町中舞鶴町、倉梯、與保呂、志樂三村關係者らは新興の意氣に燃えて午前八時

新廳舍前に勢揃ひして氏神白糸瀬神社にいたり岩城市長職務管掌によりて嚴かに市制奉告祭を執行し同九時から市役所で開廳式を行ひそれより市吏員に辭令を交付した。

八月二日 交通事業調整委員令官制（勅令第五四三號）、陸上交通事業法施行規則（鐵道内務省令第一號）公布

此日午後我軍は黃梅縣城を占領したが此の黃梅の地は湖北省の要害にして敵は第三十一軍を中心約六ヶ師を集結抗日政權の本據漢口防衛の第一線として強固な陣地を構築してゐた、同地から漢口までは直線距離に三十六里對岸の九江の陥落と共に黃梅が我が手に歸したこととは

漢口の安全感を益々喪失せしめ、更に漢口防衛の第一線たる大別山脈の西方據點は完全に崩壊するに至つた。

東京、大阪、名古屋等所謂大都會では

都市の發展膨脹に伴つて交通網は亂脈の限りを極めてゐるが、こゝにも無駄廢止の統制のメスが加へられることになり、

かねて内務省の協力を得て交通機關の調整に乗り出した鐵道省監督局では一日から新たに調整課を設置し初代の調整課長には現監督局總務課長山脇秀輔氏が任命され、いよいよ三日から省内三階の官房法規課跡に引越し執務する、先づ最も錯雜してゐる帝都の省線、市電、市バス、私鐵、群小バス等約五十線の調整から手をつけることになつた。

交通事業調整委員會委員は左の通決定

さる。

・ 會長 内閣總理大臣公爵近衛文麿△副

幹事として坂地方局長、安藤土木局長、

内務大臣末次信正、鐵道大臣中

島知久平△委員 内閣書記官長風見章 法制局長官船田中、企畫院次長青木一男、内務政務次官勝田永吉、内務次官館哲二、大藏次官石渡莊太郎、陸軍次官東條英機、遞信次官小野猛、鐵道政務次官田尻生五、鐵道次官喜安健次郎 貴族院議員候爵西郷從徳、貴族院議員藤沼庄平、貴族院議員子爵曾我祐邦、貴族院議員男爵中村謙一、衆議院議員堤康次郎、同山本厚三、同星島二郎、同今井健彦、小橋一太、堀切善次郎、太田哲三、門野重九郎、子爵井上匡四郎、中川吉造、根津嘉一郎、津島壽一 中川正左、池田宏、岡野昇、男爵大藏公望、岩田寅造、安部穂雄、堀内良平 増田次郎、小竹茂

本日海軍航空隊〇〇機は雷雨霧れの夏雲を衝き大舉漢口飛行場を空襲し空中戦闘において三十二機を撃墜し地上七機を爆破せり、われ亦二機未だ歸還せず、さきの屢次の中南空襲に殲滅的打撃を受けたる敵戦闘機隊は爾來これが補充整備に

狂奔し新機の購入、殘存機の組立て修理などあらゆる手段を盡し再建に努め辛うじてイ十五、グラデエーターを主として十六、カーチス・ホークなど雜多の混成隊を以てわが空襲に備へ恰もこれら五十餘機の集團は漢口上空を蔽ひわが戰闘機隊は敢然その眞只中に突入り戦意なき敵機を追逼し遂にその三十二機を確實に撃墜せり、その間爆撃隊は悠々飛行場に爆弾の雨を降らし隱匿ある地上機を爆破するものなかつた。

東部防衛司令部發表 || 四日より當分の間東部管下の大部の地域に對し燈火管制規則第四條の規程に依り一般屋外燈（標識燈類街路燈類及び屋外作業燈類を除く）の管制を行ふこととせり。

八月四日 寺内最高指揮官は一日北京を出發蒙疆地方を視察して三日北京に歸還し

たが張家口では蒙疆委員會結成式に臨み各部長に挨拶し二日は厚和で德王並に李守信將軍と會見し懇談した。

政府は紀元二千六百年奉祝記念事業を全國的に統一し眞に官民協力一致の下に之が完成を期するため經費一千萬圓中五百萬圓を國庫より支出、他の五百萬圓は

一般の寄附金に待ち、奉祝記念事業の全圖的完成に努めてゐるが、同委員會の計畫については時局に鑑み極力之を避けて

本事業の統一調整を圖ることとなり四日內閣書記官廳より全國地方長官その他關係官廳に對し左の如き事項を通牒した。

一、中央諸團體の事業（イ）中央に於ける諸團體の計畫については關係各省に於て調整し特に必要緊切と認められるものは内閣書記官長に協議の上實施せしむること

（ロ）中央諸團體の事業については寄附金品の募集は當該事業主體の關係地域内に限定すること

三、外地事業 朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島又は關東州に於ても大體右と類似の方法によつて事業の調整を圖ること

八月五日 航空勤務者加俸令（勅令第五三號）、航空勤務者一時賜金令（勅令第五

たが張家口では蒙疆委員會結成式に臨み
いこと

二、地方各種團體の事業（イ）道府縣及び道府縣一圓を地域とする地方各種團體の事業については地方長官に於て調整し特に必要緊切と認められるものは

内閣書記官長に協議の上實施せしむること、六大都市及び六大都市一圓を地域とする各種團體の事業計畫についても右と同様に取扱ふこと

（ロ）前項以外の市町村其他の地方各種團體の事業計畫については地方長官に於て適宜調整すること

六四號) 公布

五臺山附近山嶺地帶に遁入した共產第

八路軍は最近我軍の眼を潜り匪賊的行動

出でつゝあるが我軍精銳によつて各所に大打撃を受けてゐる即ち賀龍の率ゐる

共產軍一千が郭希鵬軍二千、莫新亞軍一千と共に平地泉南方に蠢動しつゝあるを

知つた〇〇部隊は三日朝之を急襲、夕刻に至る迄猛撃を續け之を徹底的に潰滅せしめ敵の遺棄死體六百餘に上つた。

八月六日 青年學校教授及訓練要目改正

(文部省訓令第二三號) 公布

此の日朝英砲艦コックチエファ號のコ

ック艦長及び米砲艦モノカシ一號のコ

ラン艦長は日本軍護衛の下に九江に上陸

し、英米財產の狀態を検分した。

此日の戰闘に於て我第一線部隊は砲火

によりソ聯戰車約四、五十臺を破壊、又

は擱坐せしめたり、我方は對戰車戰闘に

確信を得たり、我方の六日夕迄の損害は

戦死五名、負傷輕微にして第一線將兵の士氣は頗る旺盛、斷乎挑戰に應ずるの態勢にあり。

八月七日 中華民國臨時政府では舊通貨整理辦法により中國聯合準備銀行券と等價

交換を實施して來た冀東、河北省、中國

交通(但し中國、交通は北方發行のもの

に限る)の四銀行券の中で中國、交通兩

銀行券は一割切下げを斷行することに決

定、又小額紙幣及び補助貨幣整理辦法に

より同様當分の間等價交換を許容されて

ゐた小額通貨も河北、冀東兩行發行のも

のを除く總てのものに對し一割切下げる

ことにした。

我艦隊航空隊の精銳〇〇機は南潯鐵道

南昌驛倉庫及びその南方に新たに設置せ

る約三十棟の軍需品倉庫を爆撃せり、敵

機の出現せるものなく地上防禦砲火。極

めて緩かにして攻撃部隊の投下せる爆彈

の雨は全彈目標に命中し驛大倉庫二棟は

猛烈なる爆發とともに火焰に包まれ又諸軍需品倉庫も大部分命中弾を蒙りその一部は炎上せり。

八月八日 電力管理法第一條及第二條の規定は昭和十三年八月十日より之を施行す

(勅令第五七四號)、電力管理法施行令(勅

令第五七五號)、日本發送電株式會社法施

行令(勅令第五七七號)、電力管理に伴ふ

社債處理に關する法律施行令(勅令第五

七九號)、電力管理に伴ふ社債處理に關す

る法律施行規則(遞信大藏省第一號)、日

本發送電株式會社法施行(遞信省令第六

六號)、電力管理法附則第二項の規定に依

る發電又は送電に關する遞信省令(遞信

省令第六五號)

鄱陽湖敵前上陸〇〇部隊は前進又前進

七日朝大天山の高地を完全に占領し更に

黃梅老屋をも占領馬鞍山の敵陣地を猛撃

中。

海軍航空部隊は廣東空襲省政府及び軍

事施設を爆撃す。

八月九日 電力評價審査委員會官制（勅令第五五八〇號）、物價調査委員令（勅令第五八二號）公布

パリ・ミヂ紙のリガ特電は次の通り報ずる所があつた。ニ張鼓峰事件その後の情勢は樂觀を許さずモスコ一當局も解決容易ならざることを感じてゐるやうである、クレムリンに於てはスターリンを中心にして對日即時開戦論者とリトヴィノフ外務人民委員を中心とする日ソ不侵略條約締結論者との間に激論が戦はされてゐるが、スターリンは後者に傾き平和解決を希望してゐるのではないかと見られてゐる、最近國防人民委員次長フェヂコ將軍は當局の命を受け極東に出發したがその使命は事態を擴大せしめず又和平解決の機會を失はぬようブリュツヘル將軍を説得するにあつてはれてゐる、又十日聯邦最高會議が招集され右會議に於て政

府と國民の緊密なる聯絡あるところを中心と誇示せんとしてゐるが、其日程は未だ公表されない、しかし各地よりモスコ一に集合せる代表に對しては「極めて重大なる諮問事項を政府は提出する」旨通告してゐる事實がある、なほスターリンは暑中休暇を中止し又同時に政府要人並に高級軍人は休暇を取止めモスコ一に足止めされてゐる。

東亞の文化の新紀元を目指して我が外務省文化事業部が中華民國臨時政府と協力計畫中の日支文化提携の中心機關「東亞文教協會（假稱）」は愈える二十九日、日本側宇野哲人、鶴澤聰明、平賀謙、林毅陸諸博士以下三十餘氏、支那側臨時政府行政委員長王克敏、同教育部總長湯爾和兩氏以下三十餘氏いづれも日支兩國教育、學術、文化各團體の代表者を北京に集めて盛大な開會式を擧行する事に決定した。

八月十日 簡易生命保險令中改正（勅令第五八五號）、簡易生命保險規則中改正（厚生省令第二一號）公布

福岡市々會解散を命ぜらる。

八日午後十一時半頃百數十名より成る匪賊團が突如天津支那街西端の第三監獄を襲撃し、銃火を以て警戒中の警官を威嚇し凡二百人の囚人を脱獄せしめた事件があつた。

八月十一日 天皇陛下には十一日、御駐輦地葉山から横須賀市浦郷の海軍航空廠並に千葉縣木更津の海軍航空隊へ行幸、親しく無敵海空軍の威容をみそなはせ給ひ參戰荒鷲の武勳を偲ばせ給ふと共に海軍航空技術員らの不斷の苦勞を犒らはせられた。

張鼓峰事件に關する重光、リトヴィノフ第三次會見は十日午後十時一旦終了、重光大使は停戰に關するリトヴィノフ委員の提案を拂へて官邸に歸り土居將軍、

川畔海軍兩武官と専門的見地より慎重検討の上完全に意見一致した、仍つて重光

大使は同夜十二時再び外務人民委員部にリトヴィノフ委員と會見、その提案を受諾する旨正式に表明しに停戦協定は遂に完全に成立した、其内容は左の如し。

一、ソ側沿海州時間十一日正午双方戦闘行為を停止すること

一、日ソ兩軍はソ側沿海州時間十一日午前零時現在の線を維持すること

右實行方法は現地に於ける双方軍隊代表者間に於て協議することとなつた。

八月十二日 中支方面において海軍航空隊

は昨十一日漢口大空襲を決行せるが、更に他の部隊は黃石港下流地區において軍事行動に從事せるジヤンク十隻を爆撃擲

沈附近陸上に格納せる火工品類を炎上せしめたり、又他の航空部隊は池州方面揚子江岸敵陣及び軍需品格納所を爆撃これに潰滅的損害を與へたり、南支方面海軍

航空隊は昨十一日左記を攻撃せり。

梧州 (イ) 硫酸工場は全工場を蔽へり

(ロ) 製弾所は命中弾により一部炎上す

高要 飛行場格納庫及滑走路を爆破す

粵漢鐵道 (イ) 銀灘坳南方大鐵橋は橋脚

破壊線路落下により使用不可能となれ

リ (ロ) 黎洞驛は構内爆破炎上す (ハ) 源

譚、琵江口間鐵路八ヶ所を切斷す

廣九鐵道 樟木頭附近鐵橋の一部を爆破す

八月十三日 科學振興調査令官制 (勅令第

五八九號) 公布、內務省分課規程中改正 (土木局第三課新設) を加へられた。

十二日午後九時三十分兩軍代表の署名せしし覺書の概要左の如し。

大將シユテルン (極東方面軍參謀長) と張鼓峰前面ソ軍陣地内において會見し左の要旨の協定を遂げたり。

(一) 日ソ兩軍は現在線において嚴に戰

鬪行為を停止すること (二) 兩軍間にあ

る死體は兩軍においてそれゞゝ收容す

ること (三) 兩軍の現在線は十二日正午

張鼓峰東方白壁の家において更に確認附近においては如何なる事件も發せざ

協定すること (四) 右の三項はその時文書を以て交換すること

註 リシニテルン大將はスペイン政府軍の軍事顧問たりしことあり、本年四月極

近代戰指導の權威者で最も有能の士である。

るため萬全の處置をとることを保證する

三、一九三八年八月十二日午後八時より

日ソ兩軍は張鼓峰稜線北部に於て日ソ

兩軍主力を稜線より八十メートル以上

の線に後退せしむべし

此日我が海軍航空隊は中支方面に於て

陽新その他攻撃をなしたる外左記を爆

擊せり。

一、黃州附近にて約一千トンの軍用汽船

は直撃弾により火薬類の誘爆を起し物

焼き火焰に包まれ瞬時に沈没せり

二、斬春下流に於て軍事工事中のジャン

クを爆撃その數隻を撃沈せり

三、南支方面に於て海軍航空隊は十三日

主として粵漢、廣九兩鐵道を攻撃せり

粵漢鐵道銀畫坊附近は我が爆撃により

破壊されたる鐵橋の修理中なるを爆撃

せり、又驛構内建物を爆撃爆破線路數

個所を切斷せり、軍田驛附近において

修理車を爆破せり、廣九鐵道常平附近

において鐵橋線路を爆破せり

八月十四日 揚子江北岸の要點黃海を九江

同様に重要視して居る蔣介石は白崇禧に

對して萬難を排して黃梅を奪同せよと嚴

命したが、白崇禧は數日前より黃梅の北

方山岳地帶に約九ヶ師を集結し十四日は

拂曉から猛烈に攻撃して來た、これに對

し我佐野、藤村、原田各部隊は敵の機先

を制して黃梅北方八キロの土橋舗附近に

進出、敵は山砲、迫撃砲をもつて應戦す

るので我砲兵陣地は一齊に砲門を開き敵

陣地に猛撃を浴せ彼我の銃砲聲は殷々と

して湖北の山野を搖がし激戦は十數時間

に亘つて續けられたが夕刻に至り敵は總

崩れとなつて背後の山嶽地帶に退却した

我が損害は極めて少くこれに對し敵は到

るところ屍山血河を作り遺棄死體は少く

推算しても一千以上である。

日本に於ての最初の企てとして事變下

尙死傷者ニ對シ哀矜ノ情ニ勝ヘス
此旨將兵ニ申シ傳ヘヨ

に意義深き草刈選手大會を東朝社の後援で此日午後八時から荒川放水路堤防で行

はれた、北海道から九州朝鮮に至る全國

地方の選手四十八名が出場した、臨場の

木戸厚生相も「農村の實務に即した素晴らしい爭技である」と賞讃された、五十

五分間に百十二貫を刈り取つた宮城縣の

遠藤榮造氏が一等に當選し牛一頭と一等

優勝旗を獲得した。

八月十五日 參謀總長宮殿下に於かせられ

ては本十五日午後二時參内、張鼓峰事件

に關し上奏遊ばされし際畏くも

天皇陛下より左の如き優渥なる御言葉を

賜はりたり。

御言葉 今同ノ張鼓峰事件ニ於テ我將

兵力困難ナル情況ノ下ニ寡兵之ニ當リ

自重隱忍克々其任務ヲ完ウセルハ満足

ニ思フ